



©Teppei Kaneuji, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

## 金氏 徹平 「POOOPOPOO」

会期：2023年1月19日（木） - 2月25日（土）

会場：Yumiko Chiba Associates

〒160-0032 東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドビューティープラザ 3F  
営業時間: 12:00-19:00 定休日: 日、月、祝日

\*1月28日(土)にオープニングレセプションを行います。

(展覧会初日ではありませんのでご注意ください。)

トークイベント:

金氏徹平 x 片岡真実 (森美術館館長) \*事前申込制

日時：2023年2月9日（木）

Yumiko Chiba Associates では、金氏徹平の新作個展を開催します。金氏は、多種多様なイメージやオブジェクトを複雑にコラージュし、多重レイヤー化した彫刻やインスタレーションなどを制作してきました。

2011年以降は、それぞれのシリーズで実施してきたコンセプト、造形システム、作品空間を拡張するように、演劇の舞台美術も積極的に手がけています。2019年には、ロームシアター京都においてチェルフィッチュとともに舞台「消しゴム山」を手がけ、翌2020年には、その美術館バージョンである「消しゴム森」を金沢21世紀美術館で協働で制作しました。

このように近年の金氏の活動は、美術館やギャラリーといった空間を超え、大きな空間のなかで縦横無尽に鑑賞者を巻き込んでいく展開を見せています。久しぶりの東京での個展となる今展では、制作のスタート地点である小さな空間を再認識しつつ、近年の活動をさらに絵画空間へと拡張・展開する、新作シリーズ「POOOPOPOO」を発表します。

今回の新作シリーズは、凹凸や厚みのある物質にプリントする印刷技術を使って制作された、物質とイメージ、立体性と平滑性などが絡まり合う、複雑な層構造からなる作品です。その空間では、絵具や写真といった素材、雑多なイメージ、異物やフィクションまでもが流れ込み、交錯しています。それは、絵画をマテリアルとして捉えることで、レリーフ的にかつ彫刻的な空間性、物質性をもって鑑賞者の身体を包囲する、視覚的な状況＝環境としての絵画といえるかもしれません。

金氏の活動の新たな展開となる本展をぜひご高覧ください。



## ■アーティストステートメント

タイトルの p と o の羅列は途中までは正確に作品の制作プロセスの順番を追っているが、途中からは無意味なフィクションです。  
photo、on、phenomenon、oil、paint、of、picture、object、panel、over、pour、or、print、opposite、planet、optimize、paper、、、  
液体としての写真、絵。"oil on photo"、"写真の写真"から"photo on oil"、"絵の写真的絵の写真"。  
これらの作品は絵画ではなく、コラージュによって空間を作り出す彫刻だと考えています。  
一時的な単位、空間、歴史、集団、価値、を作り、それがまたバラバラになったり、別の何かに変化していく。  
閉じた一つとして見えていたものを、解体し、それ自体をマテリアルとして見て、それらの層の中に空間を作ることで異物やフィクションが紛れ込む余地を作っています。

金氏徹平

## ■関連情報

### 【トークイベント】

金氏徹平 x 片岡真実 (森美術館館長) \*事前申込制

日時：2023年2月9日(木)

※詳細は改めてご案内いたします。

### 登壇者プロフィール

#### 片岡真実 (森美術館 館長)

ニッセイ基礎研究所都市開発部、東京オペラシティアートギャラリー・チーフキュレーターを経て、2003年より森美術館。2020年より現職。  
2007～2009年はハイワード・ギャラリー (ロンドン) にて、インターナショナル・キュレーターを兼務。第9回光州ビエンナーレ共同芸術監督 (2012年)、第21回シドニー・ビエンナーレ芸術監督 (2018年)、国際芸術祭「あいち 2022」芸術監督。CIMAM (国際美術館会議) では2014年から理事を務め、2020～2022年会長。

## ■アーティストプロフィール

### 金氏徹平 (Teppeï Kaneuji)

1978年 京都生まれ

2001年 京都市立芸術大学彫刻専攻卒業

2003年 京都市立芸術大学彫刻科修士課程修了

京都在住

### [主な個展]

2022

「Fluorescent Green Box と未発表、未完成作品」NADiff a/p/a/r/t /東京

「S.F.(Something Falling/Floating)」市原湖畔美術館/千葉

2021

「S.F. (Splash and Fragments)」リコーアートギャラリー (東京)

「S.F. (Smoke and Fog)」アートフロントギャラリー (東京)

「物！物！物！」Click Ten Art Space/北京

2020-21

「En/trance」 Japan Society New York Foyer Garden/ ニューヨーク

2020

「金氏徹平のグッドベンチレーション-360°を超えて-」多摩美術大学アートテークギャラリー/東京

「コレクション 1:越境する線描」国立国際美術館/大阪

「消しゴム森」金沢21世紀美術館/石川

2019

「PLASTIC BARRICADE」 Jane Lombard Gallery/ ニューヨーク

「髪とプラスチックと黄金」 haku/ 京都

2018

「Romantic Barricade」 Eslite Gallery/ 台北



「Summer Fiction」 アートフロントギャラリー/ 東京

2017

「記号は記号ではない」 上野の森美術館/ 東京  
「クリスピーな倉庫、クリーミーな部屋」 MASK/ 大阪  
「Spook in Hot Pot」 Star Gallery/ 北京  
「自転車が街を彫刻する」 Hotel Anteroom Kyoto | Gallery 9.5/ 京都

2016

「金氏徹平のメルカトル・メンブレン」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/ 香川  
「Daydream with Gravity」 Roslyn Oxley9 Gallery/ シドニー

2015

「DEEP FRIED GHOST」 Jane Lombard Gallery/ ニューヨーク  
「Sweet Pickled Phantom」 ONE AND J. GALLERY/ ソウル  
「Retrospective / DESTROY ALL SCULPTURES」 ALL NIGHT HAPS 2015 HAPS/ 京都

2014

「四角い液体、メタリックなメモリー」 Kyoto Experiment 2014 京都芸術センター/ 京都  
「Endless, Nameless (Constructions)」 STPI/ シンガポール  
「フライド幽霊とボイルド空想」 シュウゴアーツ/ 東京

2013-2014

「Towering Something」 chi K11 art space/ 上海

2013

「Towering Something」 Ullens Center for Contemporary Art/ 北京  
「Something in the air」 Roslyn Oxley9 Gallery/ シドニー

2012

「Something on the Planet」 シュウゴアーツ/ 東京

2011

「Ghost in the City Lights」 Eslite Gallery/ 台北  
「POST-NOTHING」 Roslyn Oxley9 Gallery/ シドニー

2010

「Recent Works 'Post Something」 シュウゴアーツ/ 東京  
「Ghost in the Museum」 兵庫県立美術館/ 神戸

2009

「金氏徹平展：溶け出す都市、空白の森」 横浜美術館/ 横浜  
「Tower」 Roslyn Oxley9 Gallery/ シドニー  
「変成態リアルな現代の物質性」 gallery αM/ 東京

2008

「TEAM 10 金氏徹平『Ghost In The City Lights』」 トーキョーワンダ

2007

「金氏徹平展 splash & flake」 広島市現代美術館 [ ミュージアムスタジオ ] / 広島  
「smoke & fog」 児玉画廊/ 東京  
「hole & all」 児玉画廊/ 大阪

2006

「飛沫と破片」 児玉画廊/ 大阪  
「liquid collage」 TAKEFLOOR/ 東京  
「phenomenon」 児玉画廊/ 東京

2004

「小動物と大洪水」 児玉画廊/ 大阪  
「白夜のユーレイ」 児玉画廊/ 東京

2003

「白煙と濃霧」 児玉画廊/ 大阪

2002

「空白と漂泊」 児玉画廊/ 大阪



## [主なグループ展]

2022

「Notations in Space」 STPI/シンガポール  
「消しゴム畑 at 池上」 KOTOBUKI PourOver/東京  
「大地のコレクション展」 越後妻有清津倉庫美術館/新潟  
「瀬戸内国際芸術祭 2022」 宇野港/岡山  
「ヴォイド オブ ニッポン 77 ー戦後美術史のある風景と反復進行ー」 GYRE GALLERY/東京  
「KYOTO EXPERIMENT2022」 (CMTK として) ロームシアター京都/京都  
「Human Behavior」 RICOH ART GALLERY /東京  
「池上上々日記」 KOTOBUKI PourOver /東京  
「PROJECT ATAMI」 (CMTK として) ACAA SPA & RESORT LOBBY MUSEUM /静岡

2021-2022

やんばるアートフェスティバル 2021-2022 /沖縄

2021

「村田沙耶香のユートピア\_”正常”の構造と暴力 ダイアログ デヴィッド・シュリグリー ≡ 金氏徹平」 GYRE GALLERY (東京)  
「Kirikae: From Mono-Ha to Simulationism」 Each Modern (台北、台湾)  
「オムニスカプチャーズー彫刻となる場所」 武蔵野美術大学美術館アトリウム 1・2、展示室 1・2

2020

「Silver Mist from the Empty Pot, Chihiro Mori/Teppei Kaneuji」 Jane Lombard Gallery/New York  
「Turning the Axis of the World」 STPI/シンガポール  
「ヨコハマトリエンナーレ 2020 AFTERGLOWー光の破片をつかまえる」 横浜美術館、プロット 48 他/神奈川  
「デイヴィッド・シュリグリー/金氏徹平」 Yumiko Chiba Associates/ 東京

2019

「Vong Co RAHZI」 Blum & Poe Tokyo/ 東京  
「Kyoto Graphie 2019」 / 京都  
「瀬戸内国際芸術祭 2019」 香川、岡山  
「世界を開くのは誰だ？」 豊田市美術館/ 愛知  
「百年の編み手たちー流動する日本の近現代美術ー」 東京都現代美術館/ 東京  
「フライング・ヴンダーカンマー」 toberu/ 京都

2018

「国立国際美術館コレクション:美術のみかた 自由自在」 福岡県立美術館  
「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2018」 / 新潟  
「21 世紀の美術 タグチアートコレクション展」 平塚市美術館/ 神奈川  
「六本木アートナイト 2018」 / 東京  
「Playtime」 Peabody Essex Museum/ アメリカ  
「Singing Pictures」 Whistle/ ソウル  
「メガネと旅する美術展」 青森県立美術館、静岡県立美術館、島根県立石見美術館  
「橋をかける」 PARC/ 札幌  
「象る、象られる。」 Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku/東京

2017

「金氏徹平、クリスピーな倉庫、クリーミーな部屋」 MASK [MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA] /大阪  
「非常持——保啓示」 銀川現代美術館/ 銀川  
「Japanorama」 ボンビドゥ・センター・メッス/ フランス  
「第 9 回恵比寿映像祭 マルチプルな未来」 恵比寿ガーデンプレイス、東京都写真美術館/ 東京  
「Re-Born ART Festival」 / 石巻  
「Forms and Effects: Ukiyo-e to Anime」 The Berrie Center Art Galleries, Ramapo College of New Jersey/ ニュージャージー

2016

「つらなるかたち」 清津倉庫美術館/ 新潟  
「サ・コンテンポラリー 1 われらの時代ポスト工業化社会の美術」 金沢 21 世紀美術館/ 石川  
「stir, stir...0」 Statements/ 東京  
「ちがったさんのラッキー、金氏徹平 + 岡田利規」 金沢 21 世紀美術館/ 石川

2015

「GLASSTRESS 2015 GOTIKA」 Fondazione Berengo/ ヴェニス  
「サ・コンテンポラリー 1 われらの時代 ポスト工業化社会の美術」 金沢 21 世紀美術館/ 石川  
「Moving Light, Roving Sight」 Ikkan Art Gallery/ シンガポール  
「I am, Because of You」 Yuan Space/ 北京

2014-2015



「DAYDREAM with GRAVITY」 HOTEL ANTEROOM KYOTO/ 京都  
「ロジカル・エモーションー日本現代美術展」 ハウス・コンストラクティヴ美術館/ チューリッヒ、クラクフ現代美術館/ ポーランド、ザクセンアンハルト州立美術館/ ドイツ

## 2014

「Open Storage 2014 - 見せる収蔵庫 -」 MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)/ 大阪  
「舞台がぼんやり見えてきた」 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/ 京都  
「線を積む | Piling Lines」 FAL 武蔵野美術大学/ 東京  
「私の神さま|あなたの神さま」 成安造形大学/ 滋賀  
「東京アートミーティング第5回 新たな系譜学をもとめて 跳躍/痕跡/身体」 東京都現代美術館/ 東京  
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2014」 / 神戸  
「絵画の輪郭」 シュウゴアーツ/ 東京  
「開館 15 周年記念 サッカー展、イメージのゆくえ。」 うらわ美術館/ 埼玉  
「500 メーターズプロジェクト 001 Re: 送っていただけませんか?」 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館/ 札幌

## 2013-2014

「Mono No Aware. Beauty of Things. Japanese Contemporary Art」 エルミタージュ美術館/ サンクトペテルブルク  
「MOT コレクション 第2部 つくる、つかう、つかまえる」 東京都現代美術館/ 東京  
「Now Japan; Exhibition with 37 contemporary Japanese artists」 Kunsthal KAdE/ アムスフォールト、オランダ  
「六本木クロッシング 2013 展:アウト・オブ・ダウトー来たるべき風景のために」 森美術館/ 東京

## 2013

「堂島リバービエンナーレ 2013」 堂島リバーフォーラム/ 大阪  
「アートがあれば II」 東京オペラシティ アートギャラリー/ 東京  
「ホワット(ネ)エヴァー」 コーポ北加賀屋/ 大阪  
「Re:Questー1970 年代以降の日本現代美術」 ソウル大学校美術館/ ソウル

## 2012

「アブストラと 12 人の芸術家」 大同倉庫/ 京都  
「Japan Media Arts Festival in Hong Kong 2012 Parade: Invisibles In Japanese Media Arts From “Night Parade of One Hundred Demons” to “IS Parade”」 ArtisTree/ 香港  
「Sculpture by Other Means」 ONE AND J. GALLERY/ ソウル  
「CPUE 2012」 ギャラリー LE DECO/ 東京  
「ビルディング美術という建築」 広島市現代美術館/ 広島

## 2011

「赤塚不二夫マンガ大学展」 京都国際マンガミュージアム/ 京都  
「世界制作の方法」 国立国際美術館/ 大阪  
「フィギュアたちの人生」 ボーダレス・アートミュージアム/ 滋賀  
「Making is Thinking」 Witte de with/ ロッテルダム  
「JAPANCONGO」 Le Magasin - Centre National d' Art Contemporain/ グルノーブル、フランス  
「シンカガポール・ビエンナーレ 2011」 National Museum of Singapore/ シンカガポール  
「Extra Schicht 2011」 Dortmunder U/ ドルトムント、ドイツ  
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2011」 / 神戸  
「PACIFIC」 Scion Installation LA/ ロサンゼルス

## 2010

「手感的妙」 Project Fulfill Art Space/ 台北  
「レゾナンス 共鳴 人と響き合うアート」 サントリーミュージアム [ 天保山 ] / 大阪  
「ONE AND J. GALLERY at PIERRE KOENIG」 Pierre Koenig Case Study House #21/ ロサンゼルス  
「Yellow Gate」 Sangrok Gallery, Gwangju Museum of Art / 光州、韓国  
「大衆絵画選抄」 Daiwa Press Viewing Room/ 広島  
「Living with art」 Yi&C. Contemporary Art/ 台北

## 2009

「Re: Membering」 Gallery LOOP/ ソウル  
「MOT コレクション 夏の遊び場しりとり、ままごと、なぞなぞ、ぶらんこ」 東京都現代美術館/ 東京  
「WARM UP」 民生現代美術館/ 上海  
「Platform 2009 Projects by Invited Curators」 KIMUSA ほか/ ソウル  
「広島アートプロジェクト 2009 いさゞ、船内探検!吉宝丸展」 広島市中区吉島地区各所/ 広島  
「City-net Asia 2009」 Seoul Museum of Art/ ソウル  
「Twist and Shout」 Bangkok Art and Culture Centre/ バンコク

## 2008

「MOT アニュアル 2008 解きほぐすとき」 東京都現代美術館/ 東京  
「タンジェント:TANGENT」 国際芸術センター青森 ACAC/ 青森

## 2007



「Mixed Signals」 Ronald Feldman Gallery/ ニューヨーク  
「笑い展:現代アートにみる『おかしみ』の事情」 森美術館/ 東京  
「ignore your perspective 3」 児玉画廊/ 大阪  
「VOCA 展 2007 現代美術の展覧-新しい平面の作家たち」 上野の森美術館/ 東京  
「美麗新世界:当代日本視覚文化」 Long March Space/ Inter Arts Center, 東京画廊+BTAP/ 北京, 広東美術館/ 広州  
「Exhibition as media」 神戸アートビレッジセンター/ 兵庫

2006

「ignore your perspective 2」 児玉画廊/ 大阪  
「With Marcel Duchamp」 児玉画廊/ 東京  
「大和ラヂエーター製作所ビューイングルーム vol.1」 大和ラヂエータービューイングルーム/ 広島  
「ALLLOOKSAME?/ TUTTTUGUALE?: Arte Cina Giappone Corea Art」 サンドレット・レ・レバウテング財団/ トリノ

2005

「Table Tennis Players」 (アーティストユニット COUMA のメンバーとして) art project room ARTZONE/京都  
「ignore your perspective」 児玉画廊/ 東京  
「横浜トリエンナーレ 2005」 (アーティストユニット COUMA のメンバーとして), 山下埠頭/ 横浜

2004

「Art Court Frontier 2004 #2」 ARTCOURT Gallery/ 大阪  
「Art in Transit Vol.6」 パレスサイドホテル/ 京都  
「Re SPORTS (Re OLYMPIC のプレ・イベント)」 STUDIO EARKA/ 大阪

2003

「日重」 ギャラリーそわか/ 京都  
「KOBE ART ANNUAL 2003-Grip the Gap-」

#### [その他の活動]

2022

「Music Loves Art in Summer Sonic 2022」 ZOZO マリンスタジアム/千葉

2021

金氏徹平アーカイヴス これからのアートを記憶する方法、金沢 21 世紀美術館 プロジェクト工房  
金沢 21 世紀美術館アートバス 「tower(BUS)」 / 石川  
「奥能登国際芸術祭 2020+」 石川県珠洲市高屋港、ショッピングプラザシーサイド屋上/ 石川

2020

チェルフィッチュ x 金氏徹平 「消しゴム森」 金沢 21 世紀美術館/ 石川

2019

チェルフィッチュ x 金氏徹平 「消しゴム山」 KYOTO EXPERIMENT、ロームシアター京都 サウスホール/ 京都

2018

パフォーマンス 「White Discharge」 ASIA NOW/ パリ  
からだ(島地保武 + 辻本知彦)「あし」のための舞台美術、象の鼻テラス / 横浜  
「パフォーマンスとメディア・アートのラディカリズム-ジョン・ジョナスとその変遷あるいは継承-」  
金氏徹平 + contact Gonzo Rohme Theatre / 京都

2017

Kyoto Experiment 2017 招待作品 「tower(THEATER)」 Rohme Theatre / 京都  
-TPAM 招待作品 「TOWER(theater)」 Bankart( 神奈川 )

2015-2016

KAAT キッズ・プログラム 2015 おいしいおかしいおしばい「わかったさんのクッキー」のための 舞台美術 KAAT( 横浜 ) 他

2015

プロジェクトマッピング 「holes and buildings」 豊田市美術館 庭園 ( 愛知 )  
Theater company ARICA 「しあわせな日々」のための舞台美術、K.T. ムハンマド・リージョナル・シアター、ケーララ州・トリシュール/  
インド

2014

Theater company ARICA 「しあわせな日々」のための舞台美術、横浜赤レンガ倉庫 1 号館 ( 横浜 )

2013

Theater company ARICA 「しあわせな日々」のための舞台美術、  
あいちトリエンナーレ 2013, 愛知県芸術劇場 ( 名古屋 )





2012

Theater company ARICA 「This is ARICA Show!!」のための舞台美術 , VACANT( 東京 )

2011

あうるすぽっとプロデュース、岡田利規「家電のように解り合えない」のための舞台美術 , あうるすぽっと ( 東京 )

#### **[受賞歴]**

2002 京都市立芸術大学制作展 奨励賞

2010 咲くやこの花賞 美術部門

2013 京都市芸術新人賞 ( 彫刻 )

2014 第 33 回 京都府文化賞 奨励賞

2018 第 29 回タカシマヤ美術賞

#### **[パブリックコレクション]**

横浜美術館

森美術館

東京都現代美術館

広島市現代美術館

高松市美術館

国立国際美術館

豊田市美術館

金沢 21 世紀美術館

KADIST / パリ、サンフランシスコ

Queensland Art Gallery & Gallery of Modern Art / オーストラリア

Ullens Foundation Collection

---

**【本展に関するお問合せ】** ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ オフィス

〒106-0032 東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズ ハリウッドビューティープラザ 3F

[Tel] 03-6276-6731 [e-mail] [info@ycassociates.co.jp](mailto:info@ycassociates.co.jp)

[website] [www.ycassociates.co.jp](http://www.ycassociates.co.jp) [営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日